北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	全周性ハイドロキシアパタイト表面加工ステムを使用した人工股関節置換術の治療成績の検討(B22-089)
当院の研究責任者 （所属・職位）	医学部整形外科学　講師　福島健介
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	全周性ハイドロキシアパタイト表面加工ステムは人工股関節置換術にて使用される大腿骨側インプラントの一機種です。高齢化が進行し、骨粗鬆症患者さんが多いわが国では、手術後に骨量の維持が期待できる本ステムの使用が増加しております。当院でも、2016 年から本ステムを多くの患者さんに使用してきました。しかしながら、わが国における本ステムの治療成績はあまり分かっていません。そこで今回の調査は、当院で行った人工股関節置換術で使用した本ステムの治療成績を調査することで、今後の人工股関節置換術の治療成績を向上させることを目的としております。
調査データ 該当期間	2016 年 8 月1日から 2029 年 8 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療録記録およびアンケートデータ、画像情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2016 年 8 月 1 日から 2027 年 8 月 31 日までに当院で人工股関節全置換術を施行した方
研究の方法 （使用する試料等）	利用する情報 2016 年 8 月 1 日から 2029 年 8 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療録記録およびアンケートデータ、画像情報を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料･情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：　研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究の遂行のための費用は、整形外科学の教室研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

	また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： **所属・職位：医学部整形外科学　講師** **担　当　者：福島　健介（フクシマ　ケンスケ）** **電　　話：042-778-811（北里大学病院代表）**
備　考	